

《第73回 千葉糖尿病教育スタッフ研究会のお知らせ》

<http://www6.plala.or.jp/chiba-dm-staff/index.html> 平成24年8月10日

残暑なお厳しい折から、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
今回のテーマは「糖尿病と様々な糖～特に果糖に注目して～」です。

第1部では、前回から開始した「インクレチン時代の経口血糖降下薬シリーズ」の第2弾です。初回はαG Iでしたが、今回は「チアゾリジン（アクトス）」を取り上げ山本先生に、インスリン抵抗性、膀胱癌との関連、DPP4 阻害薬との併用の妙なども含めて解説してもらいます。

第2～3部はテーマ「糖尿病と様々な糖～特に果糖に注目して～」です。今回は果糖（フルクトース）に注目し、ブドウ糖（グルコース）との関係や違い、糖尿病のコントロールや合併症などへの影響も含めて解説・講演して頂きます。

まず果糖といえど何と言っても果物（糖尿病食品交換表-表2）です。様々な意見があると思いますが、高橋さんから栄養士の立場で「食事指導における果物の位置づけ」などについて歴史的な経過、昨今の果物の糖度も踏まえ解説してもらいます。

そして今回は山内先生をお招きし、メインテーマの「フルクトース」について御講演頂きます。もちろんグルコースとの代謝の違いはいうに及ばず、果糖が多く含まれる食品やそれらの摂取についての注意点、糖尿病における弊害（コントロールの指標や急性・慢性合併症などに対する影響）などについてお話し頂きます。ご案内が大変遅くなり申し訳ありませんが、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成24年10月20日(土) 14:25～17:35

申込み 当日14:00から受け付けます（参加予約は不要です）。

場所 千葉大学医学部附属病院 3階 第1講堂

*お車でのお越しはなるべくご遠慮下さい。駐車場料金は自費になります。

参加費 1000円(資料代・飲み物代等を含む) 当日受付でお支払い下さい。(学生は無料です)

***糖尿病療養指導研修単位を取得される方は認定番号が必要となります。**

内容

司会：成田赤十字病院

松尾 哲

第1部 14:25～15:10

レクチャー：インクレチン時代の経口血糖降下薬シリーズ・その2

「チアゾリジン（PPAR γ agonist）（アクトス）」

千葉市立青葉病院糖尿病代謝内科 山本 恭平

司会：東京女子医大八千代医療センター

橋本 尚武

第2～3部 テーマ「糖尿病と様々な糖～特に果糖に注目して～」

15:15～16:00

レクチャー：「食事療法における果物の位置づけ～栄養士の立場から～」

千葉駅前クリニック管理栄養士 高橋 芳恵

16:05～17:35

特別講演 「糖尿病と果糖毒性～ヒトは果糖とどう共存してきたか～」

帝京大学医学部附属北東京寿栄園 山内 俊一 教授
(敬称略)

☆各施設・部署の責任者の方には、是非スタッフの皆さんにお知らせ下さいますようお願い致します。

多くの皆様のご参加をお願いいたします。

☆次回第74回定例会は、平成25年2月 日(土)に予定しております。

★本研究会は糖尿病療養指導士認定機構に「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として
〈第2群〉(糖尿病療養指導研修単位) 1単位(認定番号12-)を申請中です。

(事務局) 成田赤十字病院糖尿病代謝内科 松尾 哲

TEL 0476-22-2311 Fax 0476-22-6477

(主催) 千葉糖尿病教育スタッフ研究会

(後援) 千葉県糖尿病対策推進会議